

2002年度長期フェロースhip助成者

	名前(上:姓 下:名)	レファレンス	国籍	年齢	現所属		受入先		研究テーマ	指導教官
1	SCHROEDER Bj m	LT00134/2002	独	31	ハンブルグ大学 ZMNH	独	カリフォルニア大学 生理学部 (サンフランシスコ)	米	新しいクロライドチャンネルのクローニング	Lily Yeh JAN
2	PARK Jin Mo	LT00087/2002	韓	33	ソウル国立大学	韓	カリフォルニア大学 薬理学部 (ラ・ホヤ)	米	生得免疫応答におけるシグナルネットワークの分析	Michael KARIN
3	TOTH Attila	LT00294/2002	ハンガリー	29		オーストリア	ケンブリッジ大学 がん・発生生物学研究所	英	還元分裂特異性染色体行動に関する新しいマウス遺伝子の識別についての研究	M. Azim SURANI
4	LALIOTI Maria	LT00606/2002	ギリシア	32	バーミンガム大学 生物科学部	英	エール大 遺伝子学部 (ニューヘブン)	米	高血圧の要因となる分子欠損の研究	Richard P. LIFTON
5	AGRAWAL Alka	LT00605/2002	米	33	エール大学 (ニューヘブン)	米	パスツール研究所 免疫学部 (パリ)	仏	照射種虫ワクチンの基礎: 肝臓段階に必須のマラリア原虫遺伝子の識別	Robert MENARD
6	COSSART Rosa	LT00591/2002	仏	28	INMED INSERM (マルセイユ)	仏	コロンビア大学 生物科学部 (ニューヨーク)	米	皮膚力学における二光子イメージング	Rafael M. YUSTE
7	THOMAS Nicolas	LT00576/2002	独	31	マックス・プランク分子生理学研究所 物理生物化学部 (ドルトムント)	独	スローンケタリング記念がんセンター 構造生物学・分子生物物理学 (ニューヨーク)	米	RAD51と結合した BRCA2 の構造測定	Nicola PAVLETICH
8	CONLON Ian	LT00195/2002	英	26	イカレッジ 分子細胞生物学 MRC 研究所	英	カリフォルニア大学 生物化学部 (ロサンゼルス)	米	細胞間接着、軸索ガイダンス、およびシナプス特異性における Dscam 1 の多様なアイソフォームの役割	Stephen Lawrence ZIPURSKY
9	MARTINEZ-PEREZ Enrique	LT00371/2002	スペイン	30	イーストアングリア大学 ジョン・イネス・センター (ノーウィッチ)	英	スタンフォード大学 発生生物学部	米	還元分裂期における染色体対合と核再構成の促進に関する CHK-2 およびその他のたんぱく質の役割	Anne VILLENEUVE
10	VAN OIJEN Antoine	LT00201/2002	オランダ	30	ライデン大学 物理学部	オランダ	ハーバード大学 化学・化学生物学部 (ケンブリッジ)	米	シングル・ヘリカーゼ分子による DNA の巻き戻しに関する力学のモニタリング	Xiaoliang Sunney XIE
11	CARAZO-SALAS Rafael Edgardo	LT00287/2002	コスタリカ	30	欧州分子生物学研究所 (EMBL) 細胞生物学・生物物理学プログラム (ハイデルベルグ)	独	王立がん研究基金 細胞周期研究所 (ロンドン)	英	分裂酵母シゾサッカロマイセス・ポンベにおける微小管集合と構成の研究のためのインビトロ検査	Paul NURSE

12	HOSHI Eiji	LT00205/2002	日	32	東北大学 医学部 生理学科 (仙台)	日	ピッツバーグ大学 神経生物学・神経外科・ 精神医学部	米	運動技能の獲得と維持について の多点的観察	Peter L. STRICK
13	TONI Nicolas	LT00455/2002	イタリア・スイス	32	ユニバーシティ・メディカル センター 薬理学部 (ジェノバ)	スイス	ソルク・インスティテュート 生物学研究所 遺伝子研究室 (ラ・ホヤ)	米	マウス海馬における成熟神経発生 およびそのシナプス可塑性に おける予想される役割について の形態学的分析	Fred H. GAGE
14	KLIER Eliana	LT00277/2002	カナダ	30	ヨーク大学 生物学部 (トロント)	米	ワシントン大学 解剖学・神経生物学 (セント・ルイス)	米	網膜外シグナルを利用した視野 の研究：中央視床部の役割	Dora ANGELAKI
15	PIEL Matthieu	LT00271/2002	仏	29	キュリー・インスティテュート (パリ)	仏	ハーバード大学 分子・細胞生物学部 (ケンブリッジ)	米	発芽酵母におけるフェロモンの シグナリング経路に関する定量的 分析	Andrew W. MURRAY
16	GUASCH G raldine	LT00358/2002	仏	26	INSERM 分子腫瘍学研究所 (マルセイユ)	仏	シカゴ大学 分子遺伝子学・細胞生物学 部	米	皮膚における多分化能幹細胞の 隔離と特性決定	Elaine FUCHS
17	ALEXANDRU Gabriela	LT00024/2002	ルーマニア	31	分子病理学研究所 (ウィーン)	オーストリア	カリフォルニア技術研究 所 生物学部 (パサデナ)	米	COP9 シグナロソームと結合する デネディラーゼの識別とその 哺乳類細胞における機能	Raymond DESHAIES
18	DENEF Natalie	LT004855/2002	ベルギー	28	欧州分子生物学研究所 (EMBL) 細胞生物学・生物物理学プロ グラム (ハイデルベルグ)	独	プリンストン大学 分子生物学部	米	ショウジョウバエにおける極性 化エキソサイトーシスと上皮細胞 極性	Gertrud SCHUPBACH
19	NEWSOME Timothy P.	LT00379/2002	オーストラリア	29	分子病理学研究所 (ウィーン)	オーストリア	王立がん研究基金 細胞運動性研究所 (ロンドン)	英	アクチン細胞運動におけるサー クファミリーと焦点接着キナー ゼの役割と制御	Michael WAY
20	KRISTJANSSON Ami	LT00126/2002	アイスランド	32	ハーバード大学 心理学部 (ケンブリッジ)	米	ロンドン大学 ユニバーシティカレッジ 認知神経化学部	米	学習および作動記憶に関する視 覚注意	Jonathon DRIVER
21	HEUN Patrick	LT00174/2002	独	34	ローザンヌ大学 スイスがん研究所 (ISREC)	スイス	ソルク・インスティテュート 生物学研究所 分子・細胞生物学研究室 (ラ・ホヤ)	米	ショウジョウバエの位置効果変 更遺伝子およびそのテロメアと 核組織内における関係について	Gary H. KARPEN
22	POZNIAK Christine	LT00030/2002	カナダ	30	モントリオール神経学研究 所 ニューロン生存研究所	カナダ	カリフォルニア大学 神経外科研究学部 (サンフランシスコ)	米	成体マウスの脳における副脳室 領域幹細胞およびその他の神経 膠星状細胞個体数の特性	Arturo ALVAREZZ-BUYLLA
23	TANIMOTO Hiromu	LT00457/2002	日	29	東京大学 分子細胞生物学研究所	日	ビュルツブルグ大学 遺伝子講座	独	温室でのショウジョウバエのオ ペラント行動とオペラント学習 における分子および基底細胞	Martin HEISENBERG

24	ANGO Fabrice	LT00076/2002	仏	31	フランス国立科学研究センター (CNRS) (モンペリエ)	仏	コールドスプリングハーバー研究所 神経科学部	米	視覚皮質における GABAergic 回路成熟期およびクリティカルピリオドの BDNF/trkB シグナリングの役割	Z. Josh HUANG
25	SLOTBOOM Dirk J.	LT00475/2002	オランダ	31	グロニンゲン大学 微生物学部 (ハーレン)	オランダ	分子生物学研究所 (MRC) ダン・ヒューマン・ニュートリション・ユニット (ケンブリッジ)	英	ミトコンドリア ADP/ATP 担体構造研究のための二次元結晶化に関する革新的方法	Edmund R. S. KUNJI
26	ZECHEL David	LT00407/2002	カナダ	29	ブリティッシュ・コロンビア大学 化学部 (バンクーバー)	カナダ	チューリッヒ大学 生物化学研究所	スイス	機能性たんぱく質フォールドの新規デザイン	Andreas PLUCKTHUN
27	ROKAS Antonis	LT00259/2002	ギリシア	27	エディンバラ大学 細胞・動物・個体群生物学研究所	英	ウィスコンシン大学 遺伝子学部 (マディソン)	米	節足動物におけるメラニン沈着パターンの変化について	Sean B. CARROLL
28	FALCIATORE Angela	LT00016/2002	伊	31	分子植物生物学研究所 Stazione Zool. "A. Dohrn" ナポリ	伊	ジュネーブ大学 分子生物学部	スイス	クラミドモナス属における葉緑体核のシグナリング	Jean-David ROCHAIX
29	SOEN Yoav	LT00496/2002	イスラエル	38	イスラエル工科大学 物理学部 (ハイファ)	イスラエル	スタンフォード大学 生物化学部	米	神経幹細胞の特徴づけと操作	Patrick O. BROWN
30	ROUACH Nathalie	LT00241/2002	仏	29	フランス神経薬理学大学 教授 (パリ)	仏	カリフォルニア大学 細胞分子薬理学部 (サンフランシスコ)	米	グルタミン酸受容体のスタルガジン媒介シナプス・ターゲティングのメカニズム	Roger A. NICOLL
31	MALLIK Roop	LT00366/2002	印	32	タタ基礎研究所化学部 (ムンバイ)	印	カリフォルニア大学 発生細胞生物学 アーバイン	米	分子運動の解読における生物物理学的・遺伝子学的複合アプローチ	Steven P. GROSS
32	BARRAL Jose	LT00179/2002	メキシコ	34	バイラー医科大学 生物化学部 (ヒューストン)	米	マックス・プランク生物化学研究所 細胞生物化学部 (マルティンスリッド)	独	真正核細胞・原核生物に溶け込んだシトソールたんぱく質のシステムの分析	Franz-Ulrich HARTL
33	MIZRAHI Adi	LT00554/2002	イスラエル	32	ベン・グリオン大学 ズロトウスキ神経科学センター (ベエル・シェバ)	イスラエル	デューク大学医学部 神経生物学部 (ダラム)	米	嗅覚神経システムにおける経験依存型可塑性	Lawrence C. KATZ
34	HOFMANN Thomas	LT00173/2002	独	29	フィリップス大学 薬理学・毒物学研究所 (マルブルグ)	独	ジョンズ・ホプキンス大学 生物化学部 (バルチモア)	米	細胞の機能および発育におけるメラスタチン状チャネル (TRPMs) の物理的役割	Craig MONTELL
35	SCHEUSS Volker	LT00374/2002	独	30	マックス・プランク生物物理化学研究所 膜生物物理学部 グッチンゲン	独	コールドスプリングハーバー研究所 神経科学部	米	単一 CNS シナプスにおける可塑性の光学的研究	Karel SVOBODA

36	PETER Marion	LT00488/2002	仏	28	CRBM フランス国立科学研究セン ター (CNRS) (モンペリエ)	仏	ロンドン大学キングスカ レッジ ICRF がん研究部	英	たんぱく質キナーゼ C-ERM(エ ズリン、モエジン、ラディキシ ン)シグナリング複合体の分解 による乳がんの運動性のターゲ ティング	Tony NG
37	MATSUNAGA Eiji	LT00046/2002	日	29	東北大学 分子神経生物学部 (仙台)	日	国立保健医学研究所 サルペトリエール病院 (パリ)	仏	脊椎軸索ガイダンスにおけるス リット機能の多様性と特殊性の 生体内分析	Alain CHEDOTAL
38	OKUDA Takashi	LT00403/2002	日	31	東京大学 神経化学学科	日	コールドスプリングハー バー研究所 ベックマン神経科学セン ター	米	ニューロン内の細胞間シグナリ ングにおける行動規制遺伝子の 機能的分析	Hollis T. CLINE
39	FUJII Yoshifumi	LT00211/2002	日	32	農業生物資源研究所 生物化学部 (つくば)	日	エール大学 分子生物物理・生物化学 部 (ニューヘブン)	米	真核性ミトコンドリア・リボソ ームの結晶化と構造的研究	Thomas A. STEITZ
40	VEENHOFF Liesbeth	LT00542/2002	蘭	30	グロニンゲン大学 膜たんぱく質酵素化学研究 室	蘭	ロックフェラー大学 細胞構造生物学研究室 (ニューヨーク)	米	酵母核孔複合体の集合	Michael P. ROUT
41	CAVODEASSI Florenca	LT00517/2002	スペイン	30	セベロ・オチョア分子生物学 センター マドリッド自治大学	スペイン	ロンドン大学ユニバーシ ティカレッジ 解剖学発達生物学部	英	前神経板内視野の仕様	Stephen W. WILSON
42	YOSHIDA Yutaka	LT00245/2002	日	32	東京大学 腫瘍学科	日	コロンビア大学 生物化学・分子生物物理 学部 (ニューヨーク)	米	転写ファクターによるニューロ ン結合の仕様	Thomas M. JESSELL
43	SCHULDINER Maya	LT00139/2002	イスラエル	27	ヘブライ大学 遺伝子学部 エルサレム	イスラエル	カリフォルニア大学 細胞分子薬理学部 (サンフランシスコ)	米	真正核細胞の小胞体におけるジ スルフィド結合形成のメカニズ ム	Jonathan S. WEISSMAN
44	HARVEY Kieran	LT00569/2002	豪	28	医学獣医学研究所 ハンソンがん研究センター (アデレード)	豪	マサチューセッツ総合病 院 がんセンター チャールズタウン	米	F-box/WD-40 反復たんぱく群島 の規制基質たんぱく質の分離	Iswar HARIHARAN
45	STEEGBORN Clemens	LT00553/2002	独	31	マックス・プランク生物化学 研究所 構造研究学部 (マルティンスリード)	独	スクリップス研究所 化学部 (ラ・ホヤ)	米	細胞サイクル研究およびがん治 療のための特殊なヒストン脱ア セチル因子の発達	Peter G. SCHULTZ
46	LAKSHMIKANTH Gandikota	LT00436/2002	インド	29	タタ基礎研究所 化学部 (ムンバイ)	独	スタンフォード大学 生物化学部	米	運動時におけるミオシンの配座 状態の特性付け	James Anthony SPUDICH
47	DE SAINT JAN Didier	LT00283/2002	仏	29	パスツール研究所 生物・分子細胞学研究室 (パ リ)	仏	オレゴン保健科学大学 ボラム研究所 (ポートランド)	米	嗅球系球体におけるシナプスの 区画化	Gary L. WESTBROOK

48	NGUYEN Minh Dang	LT00116/2002	カダ	27	マギル大学 神経学・神経外科部 (モントリオール)	カダ	ハーバード大学医学部 病理学科 (ボストン)	米	運動性行動機能障害における Cdk5の解明機能：コカイン乱用 から神経障害まで	Li-Huei TSAI
49	ASHKENASY Gonen	LT00043/2002	イスラエル	36	ワイズマン科学研究所有機 化学部 (レホボート)	イスラ エル	スクリップス研究所 化学・分子生物学部(ラ・ ホヤ)	米	デノボ酵素；ペプチド“生態系” における動的淘汰	M.Reza GHADIRI
50	GERETY Sebastian	LT00493/2002	仏/米	32	カリフォルニア工科大学 生物学部 (パサデナ)	米	英国国立医学研究所 (NIMR) 発生神経生物学部 (ロンドン)	英	脊椎動物の神経システムにおけ る分節の遺伝的メカニズム	David G. WILKINSON
51	KOLB Fabrice	LT00368/2002	仏	29	ロイス・パスツール大学 分子・細胞生物学研究所(ス トラスブル)	仏	フレドリック・ミーシャ ー研究所 (バーゼル)	スイ ス	哺乳動物細胞における RNA 干 渉機械の特性付け	Witold FILIPOWICZ
52	FLEISCHMANN Alexander	LT00215/2002	オーストリア	32	分子病理学研究所 (ウィーン)	オーストリア	コロンビア大学 神経生物学・行動学セン ター (ニューヨーク)	米	嗅覚システムにおける軸索走行 経路決定を制御する誘導因子の 識別	Richard AXEL
53	WASHBURN David	LT00482/2002	カダ	28	クイーンズ大学 生理学部 (キングストン)	カダ	ノースウエスタン大学 神経生理学・生理学部 (エバンストン)	米		Nelson SPRUSTON
54	HENRAS Anthony	LT00206/2002	フランス	29	ポール・サバティエ大学 IBCG/LBME (トゥールーズ)	フランス	カリフォルニア大学 化学・生物学部 (ロサンジェルス)	米	還元分裂プログラムの Rnase III 媒介転写後制御	Guillaume F. CHANFREAU
55	DUKERS Pascale	LT00588/2002	蘭	30	ユトレヒト医科大学 肺疾患学部 (ユトレヒト)	蘭	カリフォルニア大学 生物化学・生物物理学部 (サンフランシスコ)	米	低酸素状態における酸化窒素生 成の機序	Patrick H. O'FARRELL
56	STEF L Richard	LT00238/2002	チェコ	27	マサリク大学 国立生物分子研究センター (ブルノ)	スロ バキ	スイス連邦工科大学 分子生物・生物物理学研 究所 (チューリッヒ)	スロ バキ	編集酵素 ADAR2d s RBD s - RNA 錯体の核磁気共鳴 (NMR) 構成	Frederic ALLAIN
57	SCHRATT Gerhard	LT00476/2002	独	30	テュービンゲン大学 細胞生物学研究所	独	小児病院 神経科学科 (ボストン)	米	マウスゲノムにおける特定部位 の突然変異誘発による転写因子 CaRF 機能の試験	Michael E. GREENBERG
58	TAKEUCHI Osamu	LT00419/2002	日	32	大阪大学 微生物病研究所 (吹田)	日	ダナ - ファーバーがん研 究所 腫瘍免疫・エイズ部 (ボストン)	米	抗アポトーシス遺伝子 Mcl-1 の 機能分析	Stanley J. KORSMEYER
59	DANNENBERG Jan-Hermen	LT00299/2002	蘭	31	オランダがん研究所 分子生物学部 (アムステルダム)	蘭	ダナ - ファーバーがん研 究所 成人腫瘍部 (ボストン)	米	マウスの発育とがんにおける mSin3-HDAC 経路の役割	Ronald DePINHO
60	CHAN Ho Man	LT00101/2002	英	29	グラスゴー大学 生物化学・分子生物学部	英	ダナ - ファーバーがん研 究所 がん生物学部 (ボストン)	米	細胞接着制御における p300/SYT 錯体の分子機序	David M. LIVINGSTON

61	YVERT Gael	LT00064/2002	仏	31	胞学研究所 (イルキルシュ)	仏	フレッド・ハッチンソン がん研究センター 人間生物学部 (シアトル)	米	イーストにおける遺伝子発現制 御についてのゲノム全体の遺伝 的解剖	Leonid KRUGLYAK
62	BORELLO Ugo	LT00432/2002	伊	33	所 幹細胞研究所 (ミラノ)	伊	カリフォルニア大学 精神医学部 (サンフランシスコ)	米	前脳パターンづけにおける Fgf および Wnt 遺伝子の役割	John L.R. RUBENSTEIN
63	GRAVEL Serge	LT00065/2002	カナダ	30	シャールブルック大学 微生物学部	カナダ	ウェルカム・CRC 総合研 究所 DNA 修復研究室 (ケンブリッジ)	英	イーストにおける DNA 損傷反 応の特徴づけ	Stephen Philip JACKSON
64	OKAJIMA Tetsuya	LT00582/2002	日	31	名古屋大学 生物化学部	日	ラトガス大学 ワックスマン研究所 (ピスカタウェイ)	米	ノッチ信号における O-リンク・ フコスの役割	Kenneth D. IRVINE
65	KURODA Kumi	LT00069/2002	日	32	大阪大学 分子生物・生物化学部	日	マギル大学 発生神経内分泌学研究所 (モントリオール)	カナダ	ラットにおける母性行動に応じ た神経内分泌系の発生的柔軟性	Michael J. MEANEY
66	KOMORI Hirofumi	LT00057/2002	日	29	京都大学 化学部	日	スタンフォード大学 構造生物学部	米	DNA 転写制御媒介物質の構造 分析	Roger D. KORNBERG
67	GROSSHANS Helge	LT00571/2002	独	30	ハイデルベルグ大学 神経生物化学	独	エール大学 分子・細胞・発生生物学 部 (ニューヘブン)	米	線虫における発生の時機：新規 stRNA(リボ酢酸)およびその 補助因子の同定	Frank J. SLACK
68	LARSEN Delmar	LT00391/2002	米	30	カリフォルニア大学 化学部 (パークレイ)	米	フリー大学 生物物理学部 (アムステルダム)	蘭	非線形分光法から検討する生物 学関連反応に対するたんぱく質 力学の影響	Rienk VAN GRONDELLE
69	VAZQUEZ SENTIS Eugenio	LT00001/2002	スペイン	29	テラ大学 生物化学部	スペイン	マサチューセッツ工科大 学 有機化学部 (ケンブリッジ)	米	細胞移動のたんぱく質媒介物質 を「リアルタイム」に観察する ための化学的方法の開発	Barbara IMPERIALI
70	MEILER Jens	LT00398/2002	独	28	フランクフルト大学 有機化学研究所 (フランクフルト/メ イン)	独	ワシントン大学 生物化学部 (シアトル)	米	多様・散在する NMR(核磁気共 鳴)実験データと新規予測を組 み合わせたたんぱく質構造の決 定	David BAKER
71	ZUGARO Michael	LT00204/2002	仏	30	フランス大学 国立科学研究センター 知覚・行動生理学研究室 (パリ)	仏	ラトガス大学 分子・行動神経科学研究 センター (ニューアーク)	米	海馬における記憶形成に対する 回路特性の寄与	Gyorgy BUZSAKI
72	ATWAL Jasvinder	LT00180/2002	カナダ	31	マギル大学 神経学・神経外科学部 (モントリオール)	カナダ	スタンフォード大学 生物科学部	米	中脳のドーパミン作動性投射路 形成の基礎となる軸索ガイダ ンス機序の同定	Marc TESSIER-LAVIG NE
73	FUKAI Shuya	LT00149/2002	日	28	東京大学 生物化学科	日	スタンフォード大学 分子細胞生理学部	米	空胞膜融合機序の構造的解明	Axel T. BRUNGER

74	FREIRE DE LIMA Celio Geraldo	LT00608/2002	ブラジル	34	Oswaldo Cruz-FIOCRUZ 研究所 生理学・化学力学部 (リオデジャネイロ)	米	国立ユダヤ医療研究センター 小児科 (デンバー)	米	アポトーシス細胞のコレクチン 誘発食菌作用	Peter M. HENSON
75	LOHI Olli	LT00308/2002	フィンランド	27	オウル大学 病理学部	フィン ランド	医学研究協議会(MRC) 分子生物学研究所 細胞生物学部 (ケンブリッジ)	英	ショウジョウバエにおける表皮 成長因子受容体制御の機序	Matthew FREEMAN
76	LOPES Massimo	LT00465/2002	伊	28	FIRC 分子腫瘍学研究所 (ミラノ)	伊	スイス連邦工科大学 細胞生物学研究所 (チューリッヒ)	スイス	複製ストレスに反応する複製ク ロマチンの構造的・遺伝的特徴 づけ	Jose Manuel SOGO
77	ISHII Tomohiro	LT00354/2002	日	31	東京大学 生物化学科	日	ロックフェラー大学 発生生物学・神経遺伝学 研究所	米	マウスにおけるフェロモン検出 の解剖学的・機能的な研究	Peter MOMBAERTS
78	ESASHI Fumiko	LT00047/2002	日	30	京都大学 遺伝機構学部	日	王立がん研究基金 クリアホール研究所 (ハーツ)	英	ゲノム安定における BRCA2 の 役割分析	Stephen Craig WEST
79	VARDY Leah	LT00203/2002	英	26	大英がん研究基金 細胞制御研究室 (ロンドン)	英	マサチューセッツ工科大 学 ホワイトヘッド研究所 (ケンブリッジ)	米	PAN GU キナーゼによるショ ウジョウバエの初期胚形成期に おける細胞分裂サイクリンの制 御	Terry L. ORR-WEAVER
80	LONDON Michael	LT00323/2002	イスラエル	35	ヘブライ大学 神経生物学部 (エルサレム)	イスラ エル	ロンドン大学ユニバーシ ティカレッジ 生理学部	英	哺乳動物の中脳神経細胞におけ るシナプス効率についての試験 的・理論的特長づけ	Michael HAUSSER
81	GON Stephanie	LT00254/2002	仏	28	国立科学研究センター 細菌化学研究所 (マルセイユ)	仏	ハーバード医科大学 細菌学・分子遺伝学科 (ボストン)	米	大腸菌の DsbA/DsbB ジスルフ イドボン形成体系における電 子伝達経路の分析	Jonathan BECKWITH
82	GOROSTIZA Pau	LT00350/2002	スペイン	33	バルセロナ大学 物理化学部	スペ イン	カリフォルニア大学バーク レー校 物理・分子・細胞生物学 部	米	機械的な外力を用いた単イオン チャンネルの関門研究	Carlos BUSTAMANTE
83	LILLEMEIER Bjorn	LT00531/2002	独	32	王立がん研究基金研究所 生物化学制御メカニズム研 究所 (ロンドン)	英	スタンフォード大学 微生物・免疫学部	米	免疫シナプスの生物化学的分析	Mark M. DAVIS
84	FARRAS Rosa	LT00415/2002	スペイン	32	培養研究 (ケルン)	独	遺伝分子研究所 国立科学研究センター (CNRS) (モンペリエ)		有糸核分裂における Jun-B 退化	Marc PIECHACZYK
85	BEIS Dimitris	LT00309/2002	ギリシャ	29	ユトレヒト大学 発生遺伝学部	蘭	カリフォルニア大学サン フランシスコ校生物化学 部	米	ミノカサゴの心臓弁形成	Didier STAINIER

86	IJIMA Kanae	LT00567/2002	日	28	東京大学	日	コールドスプリングハー バー研究所	米	ショウジョウバエの記憶形成期 における樹状mRNAの役割 - スタウフェンとの分析	Jerry Chi-Ping YIN
87	FARRE Eva	LT00411/2002	スペイン	30	分子植物生理学 分子生理学部 (ゴルム)	独	スクリップス研究所 細胞生物学 (ラ・ホヤ)	米	シロイヌズナの概日時計規則に おける TOCI の役割研究	Steve A. KAY
88	MORILLON Antonin	LT00612/2002	仏	29	生物物理化学研究所 (パリ)	仏	オックスフォード大 学 生物化学部	英	酵母菌の ISWI 染色質リモデリ ング複合体を用いた CLB2 助触 媒の細胞周期規則	Jane MELLOR
89	RAMIREZ AMAYA Victor	LT00112/2002	メキシコ	35	国立自治メキシコ大学 神経科学部	メキシコ	アリゾナ大学 神経系・記憶・老化 ARL 部門 (ツーソン)	米	一生を通じての海馬依存症行動 における細胞とシナプスネット ワーク	Carol A. BARNES & Paul F. WORLEY
90	HIROTA-NAKAO KA Nami	LT00356/2002	日	29	大阪大学 たんぱく質研究所 (吹田)	日	ケンブリッジ大学 化学部	英	ミオグロビンのアミロイド筋原 線維形成	Christopher M. DOBSON
91	CARRENO Sebastien	LT00196/2002	仏	30	ポール・サバティエ大学 薬理・生物構造学研究所 (トゥールーズ)		カリフォルニア大学パー クレー校 分子・細胞生物学部	米	Hip1R: エンドサイトーシスと アクチン細胞骨格間の分子リン ク	David Gil DRUBIN
92	MATSUOKA Toshiyuki	LT00302/2002	日	34	京都大学 薬学部	日	ロンドン大学ユニバーシ ティカレッジ ウルフソン生物医学研究 所	英	哺乳動物副臭覚球の分子解剖学 的構造	Georgy KOENTGES
93	RUBIO Vicente	LT00121/2002	スペイン	29	CSIC 植物分子遺伝学部 (マドリッド)	スペイン	エール大学 分子・細胞・偏向生物学 部 (ニューヘブン)		HY5 的特性	Xing-Wang DENG
94	COOLS Roshan	LT00194/2002	蘭	27	ケンブリッジ大学 実験心理学部	英	カリフォルニア大学 パークレー校 心理学部	米	非社会的認知機能におけるドー パミンの役割	Mark D'ESPOSITO